



〈新生勝浦中、さらなる発展を〉

校長 井上 晴彦

3月12日に卒業式を終え、98名の卒業生がこの学び舎を後にしました。幸いにも春の温かく穏やかな陽射しに包まれました。今年度もとても感動的で、さわやかな卒業式を実現できました。関わった全ての皆様方に心から感謝するところです。

いよいよ平成から新しい元号へ切り替わる時を間もなく迎えます。4月に新一年生が入学すると、ついに全校で新たな制服とジャージが勢揃いします。また、現在工事中のプールも間もなく完成します。何という巡り合わせの妙味でしょう。まさに、新生勝浦中学校が本格的に動き出す、という感じです。

4月から二、三年生に進級する生徒にとっては、記念すべき時を過ごすことになります。先輩達の活動を受け、委員会活動や行事などが向上しています。まだまだ向上する余地はたくさんあります。学校、家庭、地域がさらに連携を進め、勝浦中学校が進化を続けていくことを心から願っています。よろしくお願い致します。



厳かに卒業証書授与式

3月12日(火)たくさんの来賓、保護者に、見守られる中、3年生98名が巣立って行きました。校長先生は式辞の中で、「敬天愛人」という西郷隆盛の言葉を引用し、変化にとんだこれからの生活への激励をくださいました。高梨三之助君は、卒業生答辞で3年間の思い出とこれからの生活に向けての決意を表明しました。



卒業証書授与



卒業生答辞は高梨君



校長式辞



教育委員会告辞



来賓祝辞



指揮者は高瀬君



1組



卒業式後の教室



2組



卒業の歌

1学年主任

渡邊 雅洋

早いもので、希望や不安を胸にこの勝浦中へ入学してから一年間が過ぎ、子どもたちはこの一年で大きく成長してくれました。身体的な成長はもちろんのこと、特に精神的に一回りも二回りもたくましくなりました。これからの子どもたちの更なる頑張りに期待します。保護者の皆様にはこの一年間、ご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

2学年主任

鈴木 典子

長いようで、あっという間の1年でした。日々の生活、学習、部活動、各種行事に一生懸命に取り組んできた生徒たち。時には失敗をして悔しさのあまり涙したこと。友達関係のことで悩んだこと……。色んなことがありましたが、様々な困難を乗り越え、大きく成長した姿が今、ここにあります。4月からは、いよいよ最高学年として、義務教育最後の1年が始まります。生徒達の更なる活躍を応援しています。1年間、ご協力ありがとうございました。

3学年主任

大久保 巧

3月12日(火)、平成30年度の卒業証書授与式が行われ、98名が9年間の義務教育を終え、巣立っていきました。1, 2年の生徒はもうすぐ進級し、4月には新たに新入生を迎えることになります。それぞれの立場で、先輩として、見本となるような行動をとれることを期待しています。



つぶやき

唐の詩人、于武陵が作った詩に「勸酒」がある。

勸君金屈卮 満酌不須辞
花発多風雨 人生足別離

書き下し文にすると

君に勸む金屈卮 満酌辞するを須いず
花発けば風雨多し 人生別離足る

であり、井伏鱒二の妙訳は有名である。この詩のテーマは「別離」で、仏教でいうところの「会者定離」に通じている。

「別離」には、2通りの捉え方があるという。「別れを惜しむ」「惜別」と、「別れの時を大事にする」「一期一会」である。今は3月、別れの季節、それをどう捉えるか、受け止めるかは、各人それぞれの心の持ち方次第。あなたは……。

一年間、ご愛読くださいましてありがとうございました。